

離乳牛から1歳牛まで：北 部の牛のライフサイクル

📖 ARTICLE | 3 MIN READ

北部の牛のライフサイクル



4月から11月
(同年)

サイクルが再び始まる
雌牛は、生後2-3年経過すると農場繁殖用の群れに入り、雄種牛と繁殖サイクルが再度始まります。

一年中

繁殖 (受胎)

オーストラリア北部の農場と土地は、広大なため雄牛は繁殖雌牛と通年一緒に過ごし、一年中いつでも子牛が生まれる環境です。

これは、秋と春など特定の時期にのみ雄牛が雌牛と交配される南オーストラリアの生産システムとは異なります。

乾季後の牛の招集

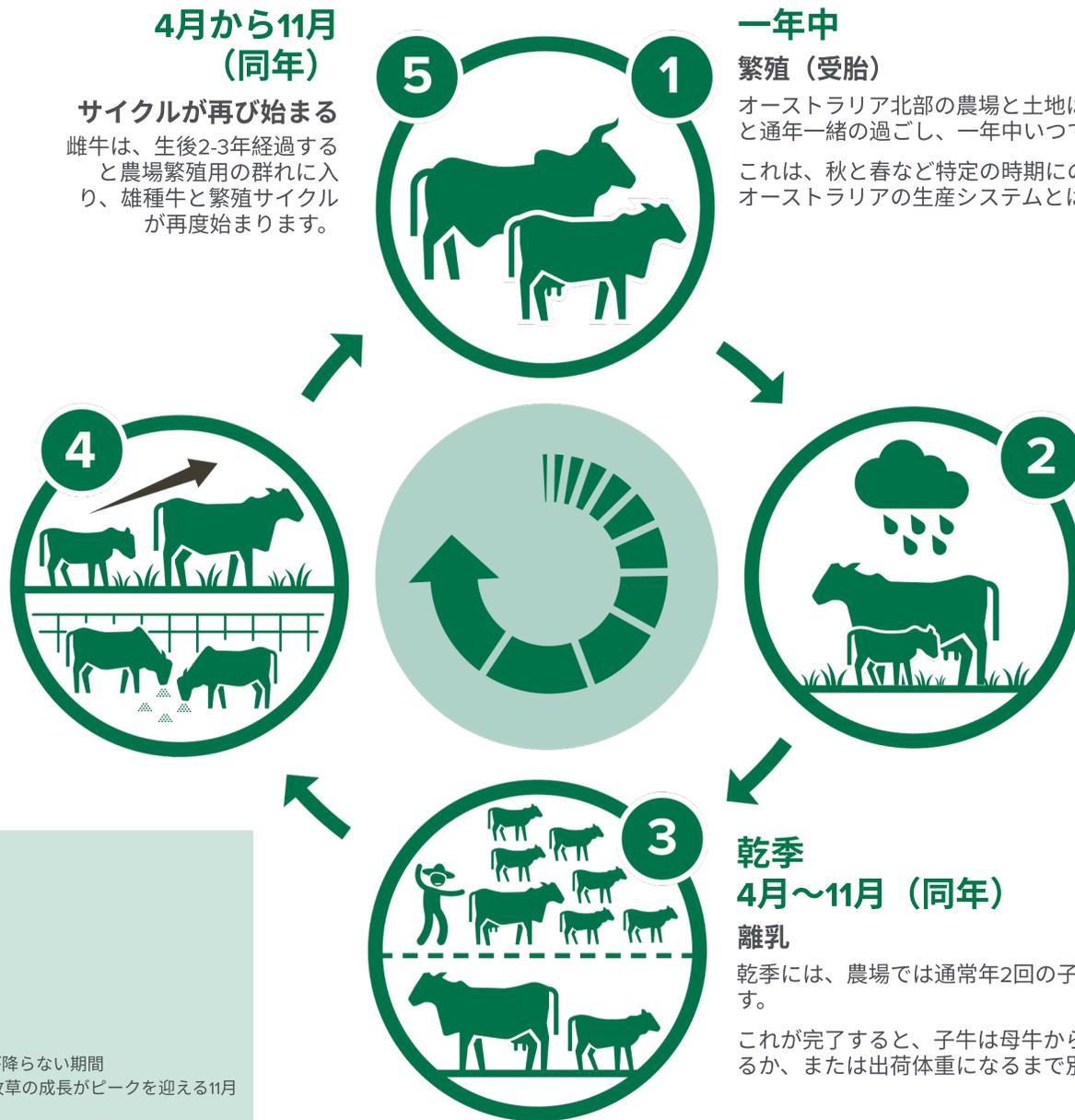
家畜の繁殖と出荷

去勢牛と繁殖用に回らない雌牛は、増体のための飼育場に移されます。

最終的な出荷先によって出荷体重は決まりますが、生体輸出向けの牛のほとんどは、生まれた土地や飼育に特化した地域で育てられます。

生体輸出以外の牛は、穀物肥育場或いは北部の農場に移され、そこで成長します。

生体市場向けの牛は、年間を通じて飼育されますが、通常、販売目的の肉牛は、年間を通じて屠畜加工が行われる乾季に最も多く出荷されます。



雨季または11月から4月
(降雨期=牧草生育期と秋)

生まれ育った子牛

オーストラリア北部の子牛の大部分は、オーストラリアの夏の11月から4月までの「雨季」の間に生まれます。

しかし、受胎は一年中いつでも起こり得るため、子牛は一年中生まれ、育てられます。

乾季

4月~11月 (同年)

離乳

乾季には、農場では通常年2回の子牛の特定箇所への誘導を行います。

これが完了すると、子牛は母牛から離乳され、同じ農場で育てられるか、または出荷体重になるまで別は農場へ移送されます。

用語集

牛: 1頭以上の子牛を産んだ雌牛

雌牛: まだ子牛を妊娠していない若い雌牛

子牛: 幼児

離乳子牛: 母親の依存から「離乳」した子牛

1歳児: 離乳した子牛から青年期に移行した子牛

去勢牛: 去勢された雄牛

雄牛: 去勢されていない雄牛

乾季: オーストラリア北部で同年4月から11月までの雨が降らない期間

雨季: オーストラリア北部でモンスーン雨が降り、草や牧草の成長がピークを迎える11月から4月までの期間。